



甚小まつり (6 月 17 日)

今年で 24 回目となる甚小まつりは、「一致団結 みんなのパワーで広げよう 甚小まつりの 笑顔の輪」をテーマに開催されました。3 年生以上の各学級では、5 月後半より出店内容について話し合い、店作り等の準備を進めました。そして、店の準備と平行して P R 用のポスター作り、給食放送を利用したの出店紹介などの活動にも取り組み、自分たちの手で創り上げる意識を高めました。当日は、多くの保護者や地域の皆様に参観いただくとともに、子どもたちの学年を超えた交流を深めることができました。また、アルミ缶や入場券代わりのペットボトルキャップも大変多く集まりました。それぞれの「お店」には、子どもたちの豊かな発想が存分に生かされ、学級で考えた役割分担にしたがい、自分の言葉や行動で一生懸命「お客様」に伝えようとする姿を随所に見ることができました。

多くの保護者・地域の方々のご来校に厚く御礼申し上げます。



熱中症予防

日ごとに暑さと湿度が増してきました。名古屋地方は、地形的な特色等から蒸し暑さが全国的に有名で熱中症が特に心配になる地域の一つです。熱中症とは、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節がうまくいかなくなり、具合が悪くなることです。症状として、「めまいやたちくらみ」「体がだるい」「体がふるえる」「足がつる」「吐き気がする」などが挙げられます。

熱中症は気温がそれほど高くなくても湿度が高いと発症する可能性があります。予防として、次の 3 点が大切とされます。

- ・ 規則正しい生活を送り体力を高めること。
- ・ 体温を下げる体の仕組みである汗をかくこと。汗をかくということは、体外に水分や塩分が出てしまいますので、補給することが必要になります。
- ・ 外出時には帽子をかぶるなど、体温を高めない工夫をすること。

◆ 7 月 1 日～運動会までの期間限定措置として、以下のことも可能とします。

(1) スポーツドリンクを学校で摂取すること

学校で飲む飲料は原則お茶ですが、スポーツドリンクを持ってくる場合は水筒に入れて持ってきてください。

- ・ 水分補給は、0.1～0.2%の食塩水またはナトリウム40～80mg/100mlのスポーツドリンクがよいそうです。
(出典 環境省23年版「熱中症環境保健マニュアル」)
- ・ 上記の基準は大人用ですので、子ども用はスポーツドリンクを2倍に薄めて水分補給することが望ましいそうです。

(2) 首を冷やすためのクールグッズを使用すること

- ・ 首は体内温度を下げる重要な部位です。

※運動会の練習および演技・競技の際には、安全上の理由と演技の服装をそろえるという理由から使用を制限する場合があります。



学校では、校舎外に出るときは、帽子(黄帽子・赤白帽子)をかぶって活動することを呼びかけ、保健室には、経口保水液を常備しています。

地域から愛される甚小の子どもたちであるために

学校には、地域住民の方からいろいろな連絡をいただきます。地域の公園の利用や道路・空き地での遊びについて、必要以上の大声や器物破損につながりかねない行為などが心配であるということです。周囲の家のことも考えながら過ごすことができるよう学校でも指導を重ねていますので、各家庭におかれましても様子を見たり、言葉がけをしたりしていただけると幸いです。